

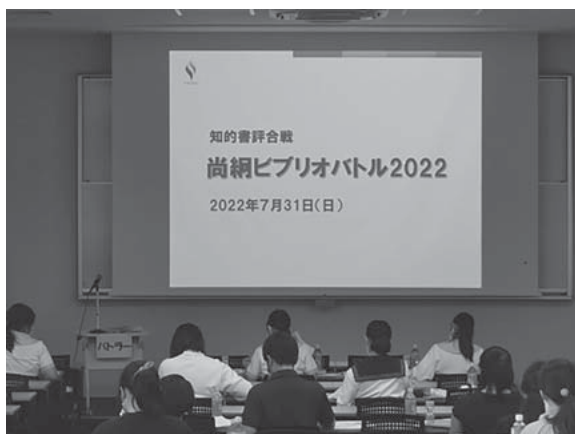
「尚綱ビブリオバトル2022」を開催しました

尚綱大学現代文化学部では、オーブンキャンパスの催しとして、令和四年七月三十一日（日）に九品寺キャンパスで「尚綱ビブリオバトル2022」を開催しました。

「ビブリオバトル」は、発表者がお気に入りの本を五分間で紹介し、観衆の投票により「一番読みたい本」（チャンプ本）を決めるゲーム性のある書評大会です。文芸文化領域を設けており、司書資格取得が可能な尚綱大学現代文化学部では、「本」に関するイベントとして、この「ビブリオバトル」を平成三十年度的から開催してきました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ここ二年间は実施を見送ってきましたが、今年度は令和元年以来三年ぶりに開催いたしました。

今回は、熊本県内の女子高校生ら七人が「バトラー」（発表者）として参加し、さまざまな本の紹介を行いました。会場の観衆からは、「本の中の好きなセリフは」「その本を読もうと思ったきっかけは」など、活発な質問も出されました。

投票の結果、「チャンプ本」には尚綱高等学校の北村紗希さんが紹介した『神様の御用人』が、また「準チャンプ本」には熊本マリスト学園高等学校の月足梨愛さんが紹介した『僕は上手にしゃべれない』が選ばれました。そのほかの発表者からも、本に対する思いがこもった発表を聴くことができました。



ビブリオバトル会場の様子